

2021年5月10日

## 新型コロナウイルス変異株の感染拡大について

理工学部長  
岡田英史

報道等にあるように、新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。今回の流行でとくに注意が必要な点は、感染力が強く症状の進行が速い変異株（N501Y）が主体となったことで、感染者が増加していることと、基礎疾患のない若年層であっても重症化する傾向があることです。「これまでも感染しなかったから大丈夫。」、「感染しても大したことはない。」と軽視することなく、ひとりひとりが感染予防策を徹底することが大切です。基本的な対策はこれまでと変わりませんが、以下に示す事項を中心に感染予防策を各自で再確認して、正しく実行してください。

- マスクを着用しない状態での会話は感染リスクが高い極めて危険な行為です。どんなに短い時間でもマスクなしで会話をするのがないように常に注意してください。飲食時の会話は、マスクなしの会話の典型例です。塾生の間でも、飲食を共にすることで感染したと考えられる事例が増えてきています。
    - 飲食時の会話を未然に防ぐため、家族以外と飲食を共にすることは避けてください。飲食に誘い合うことはせず、食堂等に知人がいてもなるべく離れた場所に着席してください。
    - 屋外でのバーベキューなどでの感染拡大も報道されています。屋外であっても複数人での飲食は行わないでください。
    - 自分がマスクを着用していても飲食をしている人とは会話をしないでください。
  - 室内ではマスクを正しく着用して口と鼻を覆ってください。鼻が出ていたり、顔とマスクの間に隙間がある状態だと、感染予防の効果がなくなります。また、なるべく予防効果の高い不織布マスクを使用するようにしてください。
  - マスクを着用していても、対人距離は1 m以上（握手ができない距離）を確保してください。
  - 屋外でマスクを着用していないときは、対人距離は2 m以上（お互いに手を伸ばしても届かない距離）を確保してください。屋外であってもマスク無しでの会話はしないでください。
  - 発熱があるときは無論ですが、わずかでも体調不良を感じたときは大事をとって外出せず、自宅で健康観察をしてください。
  - 接触感染のリスクは飛沫感染に比べて低いとされていますが、適切なタイミング（食事の前、トイレの後、部屋に入るとき、共有の物を触った後、顔を触る前、など）での手指消毒も忘れずに行ってください。
- ◎ 万が一、感染したことが判明したときは、早急に保健管理センターホームページ（<http://www.hcc.keio.ac.jp/ja/infection/report.html>）から「罹患報告」を提出し、接触者に関するヒアリングに協力してください。感染はどんなに注意していても起きうることであり、批判されることはありません。しかし、故意に報告を遅らせたり、虚偽の申告をすることは感染拡大を招く危険な行為であり、学部としても厳しく対処せざるを得ないと考えています。

昨年以来の感染症対策で活動が制限され、不安やストレスを感じる日々を送られていることと思います。緊急事態宣言の発出中は、実験科目を中心とした一部の授業を除いては対面授業をオンラインの授業に変更し、課外活動施設を原則利用中止としていますが、メディアセンターやITCなどのキャンパス施設を利用することはできます。昨年度春学期の緊急事態宣言時にはキャンパス施設を全面閉鎖しましたが、今年度はキャンパスにおける活動をできるかぎり継続する方針です。この方針を維持するためには、皆さんひとりひとりが正しい感染症対策を実行し、感染拡大を防ぐことが必須となります。皆様のご協力をお願いします。

以上